



ゆとりの会だより

西東京ゆとりの会（認知症の家族会）会報

2021. 5月

ゆとりの会の皆さん、こんにちは。お元気ですか？ 4月は、桜の後、次々と春の花、牡丹、モッコウバラ、藤、ツツジと咲き、樺、イチヨウの若葉も出て、新緑の季節も年々早まってきました。季節は、良くなりましたが、新型コロナウイルスの感染は収束しません。ゆとりの会も、4月より新年度がスタートしましたが、引き続きコロナ対策をしっかり取りながら、運営していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

さて、5月のゆとりの会は、会員の方の声をゆっくり伺えたらと思っています。場所が、福祉センター3階の田無公民館（仮）活動室となり、ご不便になられた方もいらっしゃると思います。お車の方は、駐車場がありませんのでご注意ください。田無公民館が4月～1年間休館のため、場所取りに苦労しております。皆様のご理解、ご協力をお願いします。それでは5月のゆとりの会もお待ちしています。

5月のゆとりの会のお知らせ



日時 5月12日（水）午後1：30～3：30
場所 田無総合福祉センター3階 田無公民館（仮）活動室
内容 山田病院の方より、ゆとりの会と山田病院をオンラインで結ぶ企画についての説明
懇談、情報交換

<4月の会より>

◆総会報告：会長より、出席の方には2020年度の活動報告も含めた、詳しい内容の報告書が配られましたが、欠席の方も多かったので、会報では、抜粋してお届けします。

①会員状況：現在の会員数41名。内訳は、在宅9名、入院or施設入所11名、看取り後19名、専門職2名となっています。（名簿は、5月の会報に同封します）

②2020年度活動報告：4～6月は、休会（会報のみ発行）。7月～定例会再開。コロナ対策の為、広い会場確保に苦労する状況となり、有料の所も1回使用。その他、施設や病院での面会の状況についての変化。各月での活動の報告。

③会計報告：会計の青木さんより、令和2年度収支報告書が配られ、承認されました。会費値上げの案も出ましたが、現状維持。（欠席の方には、5月の会報に同封します）

④2021年度役員選出：会長、副会長に立候補が無く、会長は谷、副会長は田村留任



で、他の役職は、会計は青木さん、場所取りは山崎さん。委員については、地域サポート連絡委員（南部圏域）は山崎さん、地域密着型サービス等運営委員は田村が留任です。

⑤2021年度事業計画：皆さんに、今年度やって欲しいことなどをお聴きしました。その場では、特に意見が無かったので、また何かございましたらお聞かせください。

◆西東京市社会福祉協議会（以後、社協と表記）の松山さんより：

社会福祉法人である社協の評議員を、当事者団体枠として、ゆとりの会から選出して欲しいとの依頼があり、古海さんが受けて下さることになりました。

◆田村より：今回は、ファイルにゆとりの会のチラシ3枚、会員名簿、両面印刷の資料3枚をセットしてお渡ししました。＊チラシ3枚は、1枚は自分用、あとの2枚は、ご自分のかかりつけ医、又は、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局などに持って行き、ゆとりの会のことを知っていただく、或いは貼っていただくようお願いしてもらうためです。＊会員名簿は、会員同士の連絡、親睦に作っているものです。無くさないようにしてください。処分する時は、細かく裁断するなどご配慮ください。

◆会員の声より

●ご主人が先月、家の中で転倒、腰の圧迫骨折しレントゲンを撮ったら3～4本骨折していた。コルセットを作ったが家では外してしまい、食欲が無く、やせてしまった。点滴を打ってやっと元気になった。と話された奥様は、「私の方が悩んでいる。良く眠れない」とのことでした。以前、お姉様のことで、社協にお世話になったそうです。

●奥様が入院中のご主人は、この1ヶ月に4回リモート面会されました。4回とも調子が良く、奥様もニコニコと歌も15曲くらい歌われたとのこと。良かったです！

●有料ホームに奥様がいらっしゃるご主人は、コロナの影響で、奥様の認知症も進み、動けなくなり、歩けなくなったとのこと。面会は、ガラス越しでは満足できず、中庭だと TENT を張っている中でマスクだけで15分くらい会え、触れることが出来るとのことでした。ご自分は、昨年12月、軽い脳梗塞を起こし、薬の副作用などで、体調を崩し痩せてしまったとのこと。血液サラサラにする薬も、血が止まりにくくなるので、肘をぶつけたら血が固まってコブのようになったそうです。幸い脳梗塞の経過は良好。奥様の施設に行くと、7000歩位歩くのがいいようです。施設の認知症の医師にも面会し、リハビリの回数を週2回にしてほしいと要望され、先生から（記憶は）最近のことから忘れるということ聞いたとのこと。奥様は、調子がいい時は自分から話すが悪い時は話さない、感情は生きている。ご主人は、「何もしてあげられないのが辛い。（妻を）1人に残していけない」とおっしゃり、深い愛情を感じました。

●昨年、ご主人を看取られた奥様は、主人が亡くなって、実際介護ができず、私はあまり介護が出来なかったと話されました。3月24日のオンラインカフェには、zoomで参加され、zoomを体験するのに良かったとのことでした。（文責 田村）

